

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立鷺洲小

学校

児童数

129

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.18	18.32	33.38	34.91	38.81	9.40	143.91	20.07	49.00
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.57	17.73	37.14	32.94	31.41	9.75	135.11	12.71	50.49
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- ・令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（以下、本調査）実技の結果において、体力合計点の平均は、男子49.00、女子50.49と、男子・女子共に大阪市および全国の平均を下回っている。
- ・本調査の児童アンケートにおいて、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、男子は95%、女子も94%が「好き」または「やや好き」と答えており、どちらも大阪市および全国の平均を上回っている。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合については、男子8.40%（大阪市11.10%・全国9.20%）・女子18.40%（大阪市19.90%・全国16.00%）と、男子・女子共に大阪市の平均と比べ優位の状況にある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

ここ数年児童数が毎年約60～80名程度増加し、毎年学級数が増加している（現在児童数約950名）。休み時間もけが防止のため、各学年（学年ごとの児童数：130名～180名）ごとに運動場の使用を割り当てている。体育科の授業も、ここ数年感染症対策を講じながらの取組となっていたこともあり、全体的な体力の低下と運動に対する意欲の低さが課題となっていた。

昨年度は体育の授業にサーキット型の運動を取り入れたり、休み時間に担任も一緒に積極的に外に出たりするように取り組んだ結果、体力に関してはまだ大阪市や全国平均を下回っているものの、「運動が好き」と答えた児童の割合は大きく改善された。

今後も体力向上に向けて、体育科の授業改善を中心に体力づくりに結びつくような環境づくりも視野に入れて、改善に取り組むこととする。